

地区ラーニングファシリテーター挨拶

地区ラーニングファシリテーター 水村 雅啓 (入間RC)



地区研修・協議会開催にあたって

2025-2026年度のラーニングファシリテーターに指名をいただきました。坂口次年度ガバナーを補佐し、クラブや地区リーダーの皆様の支援をしております。どうぞよろしくお願い致します。

地区研修・協議会は、クラブ会長エレクトをはじめとする次期クラブリーダーに対して、クラブ活性化のために大切な「ロータリー情報」を提供し、それぞれが役割と責務を周知し、クラブのリーダーシップチームとして奮起してもらうための研修と協議の場です。

坂口次年度ガバナーは自身のガバナー年度に備えて、ガバナーノミニ時代から準備をされてきました。そして、今年の2月には米国オーランドで開催された国際協議会に参加され、マリオRI次年度会長のメッセージを踏まえて地区運営方針を策定しました。本日の地区研修・協議会では、クラブリーダーの皆さんは、その方針を十分に理解して各自の役割について学び、次年度のクラブ目標策定に活かしていただきたいと思います。

2024年7月1日からクラブは3年間の目標とローリングターゲット(年度ごとに見直す)プランを実施することになりました。この目標の入力と管理はクラブセントラルでおこないます。目標は、クラブ内でよく協議し全員で共有し、その目標達成のために3年間の戦略計画を立てることが必要となります。次年度は2年目となりますが、改めて次年度以降の目標と戦略計画を再設定してください。

マリオRI次年度会長は国際協議会の中で、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げました。特に、リーダーシップの継続性の重要性を強調し、ガバナーが前任者の取り組みを土台とし、プログラムや戦略を中断することなく継続させることが地区の発展につながると話しました。クラブも同様に、向こう3年間の会長候補者や委員長などを巻き込んだ協議を行い、戦略計画委員会を設置するなど、より継続性を担保する方法が必要と思います。

時代の変化とともに、ロータリークラブも変化して行かねばなりません。みんなで考え、魅力あるロータリーにしていける時代です。当地区は、それぞれ地域性も異なり、また個性豊かなクラブの集まりです。それぞれの特徴を生かしたクラブ運営が必要となります。自ら「ラーニング」し、学びを通じて成長発展していくことを期待しております。

7月からのスタートにあたり、坂口次年度ガバナー及び役員の皆様、そして地区内クラブの皆様の更なるご活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。

なお、地区ラーニングファシリテーターは、ラーニング委員会の委員長を兼ねており、次年度におきましては、クラブ活性化ワークショップをはじめ3年未満会員研修などのラーニングセミナーを開催する予定です。ご参加をよろしくお願いいたします。